

安吾の

# 将棋観戦記

2017. 12月9日 ㊦ — 2018. 3月25日 ㊦

今年将棋界は、中学生の藤井聡太氏が史上最年少でプロ棋士となり、その後の連勝記録が話題となりました。安吾は「私は将棋は知らない」としながら、1947年から49年まで、木村義雄をめぐる対戦の観戦記を書いています。対戦前後を含めて棋士それぞれの様子を観察し、その心理を推しはかっています。また将棋における勝負を、安吾の生きる文学の世界、日本の敗戦とも比較しています。

江戸時代では家元制度により名人が決められ、維新後推薦制となり、1935年には実力によって名人を決める仕組みがつくられました。現在では5クラスによるリーグ戦を行い、勝ち抜いたものが名人に挑戦できます。その後竜王戦も設けられましたが、名人位とそれを決める名人戦は今も権威と歴史を誇っています。

安吾の観戦記を通して、勝負師である棋士の心理から、将棋の世界とその面白さを感じていただきたいと思います。

## ◇ おもな展示作品

- ・坂口安吾自筆原稿 「勝負師」
- ・坂口安吾自筆原稿 「升田幸三陣屋事件について」 (未定稿)
- ・坂口安吾 「散る日本」取材メモ
- ・坂口安吾 「勝負師」観戦メモ
- ・初出誌  
『木村、升田決戦譜 王将に迫る』  
1948年 神港夕刊新聞社 新潟市立中央図書館所蔵
- ・『群像』1947年 新潟市立中央図書館所蔵(「散る日本」収録) 他
- ・坂口安吾蔵書  
宮本武蔵著『五輪書』1942年 岩波書店、樋口金信著『棋界の風雲 児升田八段』1948年 誠光社、木村義雄著『最新将棋必勝法』1949年 世界社、木村義雄著『勝負の世界』1951年 六興出版社 他
- ・写真 第8期名人戦 第5局 木村義雄と塚田正夫 1949年 5月 他

【和室 写真展示】

坂口綱男撮影

「空そらの表情」

次回展覧会のご案内

坂口家の絵どころ



バスのご案内 新潟駅万代ロバスターミナル 7番線から、または観光循環バス乗車「西大畑坂上」バス停下車徒歩3分

- 開館時間 9:00 ~ 17:00
- 観覧無料
- 休館日 毎週月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日)

旧市長公舎 **安吾 風の館**

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町 5927 番地 9 TEL & FAX 025-222-3062